

双方向で活性化する 効果的な 地域ブランディングの進め方

日本全国で地域ブランディングが活発に進められるようになって久しくなります。ブランド力が着実に高まっているケースがある一方で、一過性の商品先行だったり、ポテンシャルはあるのにブランド戦略がうまくいっていないケースなどもあります。本セミナーでは、継続的かつ、ブランドの発信者と受信者がともに活性化するヒントを探ります。



2014年9月30日(火)
19:00～21:00(18:30開場)
慶應義塾大学日吉キャンパス独立館D201

入場無料

定員100人(申込み先着順)

配布資料：林美香子著

『農業・農村で幸せになろうよ』ほか

※閉会後、希望者の方による懇親会を
予定しています(近隣会場：有料)

第1部

地域ブランディングには地元の「こだわり」が欠かせない

地域の活性化に長年取り組むほか、モノやイベントの発信にも関わってきた地域ブランド研究の第一人者が、地域ブランディングとは何か、その進め方と注意点を、豊富な事例とともに紹介します。

事業構想大学院大学専任教授

中嶋聞多氏



事業構想研究科長。慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特別招聘教授。地域活性化学会理事(前副会長)。東京慈恵会医科大学、文教大学、信州大学、法政大学大学院教授を経て現職。専門は応用情報学(情報にもとづく問題解決の研究)・知識経営論。

第2部

地域コミュニティビジネスでブランド力を

農村と都市の共生(＝農都共生)に取り組んできた中で、地域資源を活かした地域・農村のコミュニティビジネスの例を紹介。慶應大大学院SDMでの活動や研究成果を報告します。

慶應義塾大学大学院
システムデザイン・マネジメント研究科
特任教授

林美香子氏



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科農都共生ラボ所属。北海道大学大学院農学研究院客員教授。農都共生研究会会長として「食」「農業」「環境」「地域づくり」などの取組み、講演活動を行う。著書に『農業・農村で幸せになろうよ』『農都共生のヒント』『農村へ出かけよう』など。

会場アクセス



タイムスケジュール

18:30 開場
19:00 第1部講演(中嶋氏)
20:00 休憩
20:15 第2部講演(林氏)
20:45 質疑応答、名刺交換
21:00 閉会

主催：慶應義塾大学大学院システムデザイン・
マネジメント研究科附属システムデザイン・
マネジメント研究所地域活性化ラボ
／農都共生ラボ

協力：事業構想大学院大学事業構想研究科／
農都共生研究会／松田綜合法律事務所／安曇出版

◎お申込みは、下記のサイトまで

<http://www.sdm.keio.ac.jp/2014/09/30-111710.html>